

**研究課題** : Appendicitis Global Outcomes (AlliGatOr) Study: Identifying areas for whole systems strengthening in emergency care

## 1. 研究の目的

この研究は、GlobalSurg および NIHR グローバルヘルスリサーチユニットによって行われる国際的なプロジェクトです。これまでに、さまざまな国の病院が協力して、世界中で多くの患者さんの治療データを集め、医療の質を向上させるための研究を行ってきました。

AlliGatOr プロジェクトは、虫垂炎（いわゆる盲腸の炎症）の治療がどのように行われているかを調査することで、救急医療体制の改善に役立てようとしています。虫垂炎の診断や治療方法、手術の種類、治療後の経過などをさまざまな地域や病院で比べることで、どの国や地域でも患者さんが必要な治療を受けやすくするためのヒントを見つけたいと考えています。

また、この研究を通じて、各国の医療システムがどれだけ発展しているか、どのように資金が使われているか、都市と地方の医療環境の違いなども明らかにし、より良い医療を提供するための基礎を築くことを目指しています。

## 2. 研究の方法

2025年2月3日から2025年5月25日の間に、急性虫垂炎の手術を受ける患者さんを対象に、研究のための情報を収集します。これは、患者さんの基本情報や、病院に来るまでの経緯、手術内容、そして手術後の経過について、専用のデータベース（REDCap）に記録するものです。

## 3. 研究期間

2025年2月3日から2025年5月25日

## 4. 研究に用いる資料・情報の種類

電子カルテや麻酔記録から、患者さんの基本情報、麻酔の方法、手術の内容、術後の経過などを収集します。

## 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

集めさせていただいた情報は、個人が特定できないよう匿名化した上で、GlobalSurg および NIHR グローバルヘルスリサーチユニットに提供いたします。研究の成果は学会や学術雑誌で発表される予定であり、また当院のホームページでも公開いたします。

## 6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：外科 医長 出家亨一

研究分担者：麻酔科 医員 藤本由貴

研究分担者：外科 医員 小川祥子

## 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年4月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）